○○年度 活動計算書 ××年×月×日から××年×月×日まで

特定非営利活動法人〇〇〇〇 (単位:円)

科目		金額	
I 経常収益			
1.受取会費			
正会員受取会費	$\times \times \times$		
賛助会員受取会費	$\times \times \times$		
•••••	$\times \times \times$	$\times \times \times$	
2.受取寄附金			
受取寄附金	$\times \times \times$		
•••••	$\times \times \times$	$\times \times \times$	
3.受取助成金等			
受取民間助成金	$\times \times \times$		
•••••	$\times \times \times$	$\times \times \times$	
4.事業収益			
○○事業収益		$\times \times \times$	
5.その他収益			
受取利息	$\times \times \times$		
雑収益	$\times \times \times$		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	$\times \times \times$	$\times \times \times$	
経常収益計			$\times \times$
[経常費用			
1.事業費 (注1)			
(1) 人件費			
給料手当	×××		
法定福利費	XXX		
退職給付費用	×××		
福利厚生費	×××		
[/山井二	XXX		
人件費計	XXX		
(2) その他経費 会議費	×××		
云磯貝 旅費交通費	×××		
減価償却費	\ \x \x \x \		
支払利息	$\begin{array}{c c} & \hat{\times} & \hat{\times} & \\ \hline & & \end{array}$		
又14411心	$\begin{array}{c c} & & & & \\ & & \times & \times & \\ \end{array}$		
その他経費計	×××		
事業費計	7,7,7	$\times \times \times$	
2.管理費 (注1)		~ ~ ~ ~	
(1) 人件費			
役員報酬	$\times \times \times$		
給料手当	×××		
法定福利費	×××		
退職給付費用	×××		
福利厚生費	$\times \times \times$		
••••••	×××		
人件費計	$\times \times \times$		
(2) その他経費			
会議費	$\times \times \times$		
旅費交通費	$\times \times \times$		
減価償却費	$\times \times \times$		
支払利息	$\times \times \times$		
•••••	$\times \times \times$		
その他経費計	$\times \times \times$		
管理費計		$\times \times \times$	
経常費用計			×× ××
当期経常増減額			$\times \times$

Ⅲ 経常外収益 1.固定資産売却益 	$\begin{array}{c c} \times \times \times \\ \times \times \times \end{array}$	
経常外収益計 IV 経常外費用 1.過年度損益修正損	××× ×××	×××
経常外費用計		$\times \times \times$
当期正味財産増減額		XXX
前期繰越正味財産額 (注2)		$\times \times \times$
次期繰越正味財産額(注3)		$\times \times \times$

- ※ 今年度はその他の事業を実施していません。 (**注 4**)
- (注1) 人件費とその他経費に分けた上で、支出の形態別に内訳を記載する。
- (注2) 前事業年度活動計算書の「次期繰越正味財産額」と金額が一致することを確認すること。 (注3) 貸借対照表の「正味財産合計」と金額が一致することを確認すること。
- (注4) その他の事業を定款で掲げていない法人はこの脚注は不要。
- 重要性が高いと判断される使途等が制約された寄附金等(対象事業等が定められた補助 (注5) 金等を含む)を受け入れる予定である場合は、「一般正味財産増減の部」と「指定正味財産増減の 部」に区分して表示することが望ましい。

<表示例>

